

デジタル資産活用戦略会議 ウェブ情報利活用ワーキンググループ

開催要綱

1 会の名称

ウェブ情報利活用ワーキンググループ（以下、「ウェブ情報利活用WG」という。）

2 背景・目的

文化遺産情報等の公共的なアーカイブコンテンツをデジタル資産として、社会・経済・文化等の多様な活動に活用し、新たな価値を創造していくことが求められている。このため、公共的なデジタル資産のオンライン流通や素材としての利活用を促進するためのインフラ、技術、制度等のあり方を総合的に議論し、デジタル資産の利活用の高度化の推進に資することを目的として、「デジタル資産活用戦略会議」が開催されている。今回、同会議の開催要項に基づき、デジタル時代の知識・文化が結集されたウェブ情報の利活用を推進するために必要な諸課題の検討等のため、本ワーキンググループを開催する。

2 ウェブ情報利活用WGにおける検討事項

- (1) ウェブ情報アーカイブの具体的な推進方策
- (2) 実証実験の実施内容 等

3 ウェブ情報利活用WGの構成

- (1) 構成員は別紙のとおりとする。
- (2) ウェブ情報利活用WGにはリーダー1名を置く。
- (3) リーダーは、「デジタル資産活用戦略会議」の座長が、その構成員の中から指名する者があたる。
- (4) リーダーは、ウェブ情報利活用WGを招集し、主宰する。
- (5) リーダーは、必要があるときは、構成員を追加することができる。
- (6) リーダーは、必要があるときは、外部の関係者の出席を求め、意見を聞くことができる。
- (7) リーダーは、上記のほか、ウェブ情報利活用WGの運営に必要な事項を定める。

4 開催期間

平成16年7月から平成18年3月までを予定。

5 庶務

ウェブ情報利活用WGの庶務は、総務省情報通信政策局コンテンツ流通促進室が行う。

デジタル資産活用戦略会議 ウェブ情報利活用ワーキンググループ構成員

(五十音順・敬称略)

(リーダー)

田中 克己 京都大学 大学院情報学研究科教授

(構成員)

安達 淳 国立情報学研究所 開発・事業部長

飯澤 篤志 (株)リコー ソフトウェア研究本部ユビキタスソリューション研究所長

植月 献二 国立国会図書館 電子情報企画室長

岡本 真 ヤフー(株) リスティング事業部サーファードータベース編集チームリーダー

金田 光範 東芝システムテクノロジー(株) 営業技術統括部長

河野 浩之 南山大学 数理情報学部教授

岸上 順一 日本電信電話(株) 第三部門プロデュース担当プロデューサー

近藤 学 (株)インターネットイニシアティブ ソリューション本部プロダクト推進部プロダクトマネージャ

角谷 和俊 兵庫県立大学 環境人間学部教授

武田 浩一 日本アイ・ビー・エム(株) 東京基礎研究所・ナレッジ・インフラストラクチャ担当次長

津田 宏 富士通(株) 広報IR室 担当課長

中村 真二 松下電器産業(株) パナソニックシステムソリューションズ社 首都圏本部公共推進グループ公共推進チーム参事

中村 秀至 (株)三菱総合研究所 社会システム研究本部社会システム事業研究部長主席研究員

根本 啓次 日本電気(株) ソリューション開発研究本部シニアマネージャー

廣石 高 三菱電機(株) e-行政部技術課長

山名 早人 早稲田大学 理工学部教授

山本 一秀 (株)インフォシティ サーバースystem開発事業部事業部長

横澤 誠 (株)野村総合研究所 研究創発センター上席研究員